

ジンバブエ経済（経済情報の週間とりまとめ：2月第一週目）

- 1 金融政策声明文の発表（2日付、ヘラルド紙）
- 2 米商工会議所（AmCham）の設立（3日付、ヘラルド紙）
- 3 ジンバブエとザンビアによる主要電力発電事業の加速化（3日、ヘラルド紙）
- 4 リチウム鉱石禁止令の影響（1月31日付、インディペンデント紙）
- 5 停電と価格上昇に懸念（6日付、デイリーニュース紙）
- 6 当国政府：インフレ率は下がってきている（6日付、ニュースデイ紙）
- 7 独立後42年間で最高外貨収益率を記録（6日付、ニュースデイ紙）

1 金融政策声明文の発表（2日付、ヘラルド紙）

2日、ジンバブエ中央銀行（RBZ）は、物価の安定と国内経済の回復力強化を目指し、金利の引き下げを含む金融政策を発表したところ、要旨以下のとおり。（2月1日より実施される。）

- （1）政策金利を年率200%から150%に引き下げ、インフレとの整合性を計る。
- （2）個人と中小零細企業を含む生産部門向けの中期的な銀行融資の貸出金利を年率1000%から75%に引き下げる。
- （3）銀行の一般政策金利を最低貸出金利として維持する。
- （4）普通預金と定期預金の最低預金利息をそれぞれ年率30%と50%とする。
- （5）外貨普通預金と定期預金の預金金利をそれぞれ年率1%及び2.5%に維持する。

金融政策声明文：

https://www.rbz.co.zw/documents/press/2023/February/MPS_February_2023_At_a_Glance.pdf

2 米商工会議所（AmCham）の設立（3日付、ヘラルド紙）

2日、米商工会議所（AmCham）が国内に新規に設立された。同式典で、ヌーベ財務・経済開発大臣は、ジンバブエ政府は、国内リチウム充電器製造事業への投資に関心がある投資家らに対して、2,000万米ドルの拠出準備ができていると述べた。また、電力、鉱業、農業分野などへも、米からさらに多くの投資が入ることを期待していると述べた。

AmCham は、ジンバブエへの投資に関心を持つ米企業と、特にフルーツや野菜、その他園芸作物の輸出をとおして、米市場への進出を目指すジンバブエ国内企業両方のためのプラットフォームを推進していく予定である。

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/govt-dangles-us20m-for-lithium-battery-plant/>

3 ジンバブエとザンビアによる主要電力発電事業の加速化（3日、ヘラルド紙）

過去3ヶ月間、他アフリカ南部地域諸国と同様に長時間にわたる停電に悩まされているジンバブエとザンビアは、主要電力発電所プロジェクトの加速化に取り組むと発表した。45億米ドル相当の費用がかかるとされているバトカ・ゴージ水力発電所の稼働作業とカリバ水力発電所の回復作業は、両国の電力不足問題への長期的解決に繋がるとされている。プロジェクトの実施機関であるザンベジ川局（ZRA）は、ヴィクトリアの滝の下流54kmの地点へ繋がる道路の整備など、すでに準備段階の作業に取り掛かっている。

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/zim-zambia-to-speed-up-two-key-power-projects/>

4 リチウム鉱石の輸出禁止令の影響（1月27日付、インディペンデント紙）

22年12月に発表されたリチウム鉱石の輸出禁止令は、リチウム鉱石（砕かれていないペタライト）に限っており、国内全ての主要リチウム鉱山業者がすでに生産しているもしくは生産計画に取りかかっているリチウム濃縮物（リシア輝石）の輸出に関しては制限されていない。政府は、リチウム濃縮物（リシア輝石）を、リチウム原石又は未処理のリチウム鉱石とは捉えていない。

このようなことから、同法令は、（鉱山・鉱山開発省から認可を受けていない）小規模採鉱労働者の労働及び収益にかなりの影響を与えることとなる。小規模採鉱労働者が採掘してきた鉱石を市場で売り捌く前に、同法令の導入を急いだ結果である。

報道リンク：

<https://www.newsday.co.zw/theindependent/opinion/article/200006687/reflecting-on-the-export-ban-for-raw-lithium>

5 停電と価格上昇に懸念（6日付、デイリーニュース紙）

消費者及び産業界の両方が、ジンバブエ中央銀行（RBZ）により発表された経済安定のための金融政策を歓迎したものの、現在国が直面している容赦ない停電と燃料価格の高騰により、その政策が無駄になってしまうのではないかと懸念を示す。ジェーム・エネルギー・電力開発大臣は、終わらない電力不足を解消するために、近隣諸国からの電力総輸入量を、500MWまで引き上げると述べた。

報道リンク：<https://dailynews.co.zw/nation-frets-over-blackouts-prices-as-authorities-fight-to-keep-economy-stable/>

6 当国政府：インフレ率は下がってきている（6日付、ニュースデイ紙）

財務省は、ZWL（ジンバブエドル）が米ドルに対して弱い状態が続いているにも関わらず、国内の月間インフレ率は減少していると述べた。公式レートでは、現在805ZWL／米ドル、闇レートでは、1,200ZWL／米ドルで取引されている。経済分析家は、この状態が続けば、年末までには年間インフレ率は400%を記録するだろうと述べる。月間イン

フレ率は、1.3%から今月は0.6%へ減少した。

報道リンク：<https://www.newsday.co.zw/local-news/article/200007084/inflation-slowing-down-govt>

7 独立後42年間で最高外貨収益率を記録（6日付、ニュースデイ紙）

マングジカ・RBZ 総裁は、22年、ジンバブエは、独立後42年間で最高外貨収益率となる1,160億米ドルを記録したと発表した。

報道リンク：<https://www.newsday.co.zw/business/article/200007072/biggest-forex-windfall-in-42-years-as-zim-rates-hit-the-roof-us-gains-traction>